

野毛山動物園のグレビーシマウマ 「モモタロウ」が死亡しました

野毛山動物園で飼育していたグレビーシマウマの「モモタロウ」が、死亡しましたのでお知らせします。

1 死亡したグレビーシマウマについて

- (1) 名 前：モモタロウ
- (2) 性 別：オス
- (3) 年 齢：15 歳 0 か月齢
(平成 15 年 6 月 16 日生まれ)
- (4) 死亡日：平成 30 年 7 月 4 日 (水)
15 時 30 分死亡確認
- (5) 死因：腫瘍による全身状態の悪化



グレビーシマウマの「モモタロウ」

2 プロフィールと経過

平成 15 年に京都市動物園で生まれ、姫路セントラルパークを経て平成 17 年に野毛山動物園に來園しました。温厚な性格で、隣の展示場にいるキリンの「そら」や「モミジ」だけではなく、職員などにも友好的な個体でした。特にキリンの「そら」とは仲が良く、柵越しに 2 頭でじゃれあう姿が人気でした。

6 月 30 日から食欲不振と採食後に嘔吐があり、7 月 2 日頸部下部に腫脹を確認したことから、食道の異常を疑い、7 月 4 日麻酔下での検査及び治療を行いました。15 時 30 分死亡を確認しました。解剖の結果、胸部、後腹壁、腸間膜等にかかなり大きいリンパ系腫瘍が認められました。



野毛山動物園



指定管理者：(公財) 横浜市緑の協会

お問合せ先

野毛山動物園 園長 鈴木 浩 TEL045-231-1307

【参考資料】

1 グレビーシマウマについて

| | |
|------------------------------|---|
| 和名 | グレビーシマウマ |
| 英名 | <i>Grevy's Zebra</i> |
| 学名 | <i>Equus grevyi</i> |
| 分類 | 奇蹄目 / ウマ科 |
| 生態 | グレビーシマウマはケニア、エチオピア北部に生息。野生のウマの仲間では一番大きく、体長3m体重400kgになる。イネ科の草を主食とし、飼育下では乾草や青草、ニンジンなどを食べる。オスはシマウマ3種で唯一なわばりを持ち、ほかのオスを寄せ付けない。他のシマウマに比べ、丸く大きな耳、房の少ない尾、腰から尾にかけて1本の太い縦じまが特徴。 |
| ワシントン条約 (CITES) | 附属書 I 絶滅のおそれのある種で国際取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの |
| 国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト | 絶滅危惧 I B 類 (EN) 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの |
| 国内飼育頭数 | 8 園館 22 頭 (オス 12 頭、メス 10 頭) ※平成 30 年 1 月 30 日現在 |
| 当園飼育頭数 | 0 頭 ※平成 30 年 7 月 5 日現在 |

2 野毛山動物園について

- ◆入園料：無料
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
- ◆休園日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、10月は無休
- ◆交通：JR 根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅下車 徒歩 15 分、
または市営バス 89 系統「一本松小学校」行き「野毛山動物園前」下車すぐ
京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩 10 分
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/nogeyama/>
- ◆住所：横浜市西区老松町 63-10
- ◆問合せ先：045-231-1307